

おとなの寺子屋

公開講座

日時：2022年（令和4年）
6月18日（土）
10：00開始
9：30開場 12：00終了



こいずみ よしなが
講師：小泉 吉永 氏
（往来物研究家）

会場：三次ふれあい会館
広島県三次市三次町1828-5

定員：50名（定員になり次第締め切ります）
受講料：1000円（おとなの寺子屋 通し券購入の方は無料）
申込み：三次市立図書館

※遠方の方は電話受付可
TEL 0824-62-2639 / FAX 0824-63-2861

◇交通案内◇

市街地循環バス「くるるん」で「商工会議所前」下車，目の前

◇駐車場◇

三次ふれあい会館，三次商工会議所

往来本から見た
頼杏坪の人となり



らい きょうへい
頼 杏坪

宝暦6年(1756) 竹原市の豪商紺屋に生まれる。兄春水
とともに儒学の教師として広島浅野藩に仕える。文化
10年(1813)60歳近くになって三次・恵蘇・三上・奴可
の代官として民生の安定を第一として施政にあたる。
文政11年(1828)から3年間三次町奉行を勤める。

『近世名家肖像図巻』頼杏坪
出典：ColBaseをもとにトリミング作成
(<https://colbase.nich.go.jp/>)

主催：三次市立図書館

後援：三次市教育委員会・三次地区自治会連合会・三次商工会議所

講師紹介

往来物研究家・往来物倶楽部代表。学術博士（金沢大学）。

1959年東京都生まれ。82年早稲田大学政治経済学部卒業後、学校教員や出版社編集職を経て現職。現在、古典籍1万点のデジタル化（往来物倶楽部デジタルアーカイブス）などを主要業務として展開、HP「往来物倶楽部」やフェイスブックで各種情報を発信。江戸時代の教育や庶民文化に関する講演・展示企画の傍ら、各種メディアにも出演。

主要著作『往来物大系』『近世育児書集成』『江戸の子育て十カ条』『江戸に学ぶ子育て人づくり』『痛快！気配り指南「父の小言」』など。

三次の往来本とデジタルアーカイブ

往来本とは、平安時代後期から大正時代にかけて寺子屋などで使われていた昔の教科書の総称です。（一般には「往来物」と呼ぶ。）

三次市立図書館では、平井右平氏(1883-1950)の寄贈による612点の往来本を保管・管理しています。昭和37年に三次市重要文化財に指定されました。また平成29年度からは196点をデジタルアーカイブとして公開、インターネット環境があれば原本を高精細画像で閲覧いただけます。三次市立図書館設立のきっかけともなった「往来本」をデジタル化し広く公開することで、今後の往来物研究へのさらなる活用を期待いたします。



三次市立図書館「往来本」デジタルアーカイブ

おとなの寺子屋

往来本を通して江戸を学ぶ連続講座です。（2022年度は6月～12月の全6回 ※公開講座含む）講師を務める往来物研究の第一人者 小泉吉永氏と三次市立図書館をZoomで結ぶ、WEB講座。図書館にしながら講義を受けることができる館内受講とZoomを利用した自宅受講ができるハイブリット講座です。



日程 毎月第3金曜日 14:00～16:00(全6回) 【見逃し配信もあり】			
	日時	講座内容	図書館職員ミニ解説
公開講座	6月18日(土)	往来本から見た頼杏坪の人となり	図書館の往来本
※公開講座のZoom受講の方は後日、録画配信となります。ご了承ください。			
第2回	7月15日(金)	「金のなる木」が教えた幸福の秘訣	「金のなる木」の概略
第3回	9月16日(金)	九十九里の手習い師匠は何を教えたか	漁村向けの往来本
第4回	10月21日(金)	農家子弟に「一人前」を教えた手習い師匠	農村向けの往来本
第5回	11月18日(金)	「本屋往来」と江戸時代の出版	町人向けの往来本
第6回	12月16日(金)	元禄期の社会問題をあぶり出した往来本	大阪方面の往来本

受講選択	図書館内受講 Zoom受講
受講料	5,000円 公開講座、受講無料
定員	館内：12名 Zoom：30名

頼杏坪役宅「運甕居」と往来本

三次市三次町の一角にあり、約130平方メートルの単層茅葺の家屋で、頼杏坪が三次町奉行をしていた当時の役宅です。体を鍛えるために朝夕瓦を運んだ統侃の故事にちなんで別名を運甕居と呼びます。

杏坪の著した往来本には『諭俗要言』『勸孝諭俗要言』『食禄箴』

があります。他に『芸備孝義伝』や『芸藩通志』の藩史編纂に携り『原古編』『春草堂詩鈔』などの著作があります。



「頼杏坪先生食禄箴」

